

平成18年宮城県県民健康・栄養調査の概要

1 目的

本調査は、医療制度改革に伴い、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した生活習慣病対策を推進するため、県民の意識や実態・課題等を把握し、「みやぎ21健康プラン（宮城県健康増進計画）」について、今後新しい指標項目を盛り込むなどの改定を行うことを目的として実施した。

2 実施主体 宮城県

3 協力機関 仙台市

4 調査期間 平成18年10月～12月

5 調査対象

(1)対象地区 県内50地区

(2)対象者 調査日現在に対象地区に居住する満1歳以上の男女 2,956人

(3)地区選定方法

各圏域に偏りが発生しないよう、層化無作為抽出法を用い、平成18年国民健康・栄養調査地区に平成18年国民生活基礎調査対象地区から無作為抽出した地区を上乗せし、不足分を平成12年国勢調査地区から無作為抽出した。

(4)調査協力者の概要

協力状況については、身体状況調査2,956人のうち1,022人(34.6%)、生活習慣調査2,553人のうち1,307人(51.2%)、栄養摂取状況調査1,039人のうち719人(69.0%)、歩数調査は906人のうち508人(56.0%)の協力（有効標本数）が得られた。

（協力者の年齢階級別構成）

（単位：人）

調査区分	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
身体状況調査	1,022	48	95	27	64	103	103	184	191	207
生活習慣調査	1,307			67	124	160	185	253	245	273
栄養摂取状況調査	719	33	62	36	46	68	90	127	110	147
歩数調査	508			27	40	55	72	110	90	114

6 調査項目及び調査方法

(1)身体状況調査

メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合に関する項目（身長、体重、血液検査等）を各保健所で対象地区毎に調査期間内に実施日を1日設定し、会場に対象者を集めて実施した。

(2)生活習慣調査

健診受診率、保健指導利用率、医療機関受診率、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の概念の認知度に関する項目等無記名の自記式質問紙調査を実施した。調査票は各世帯に郵送で配布・回収した。

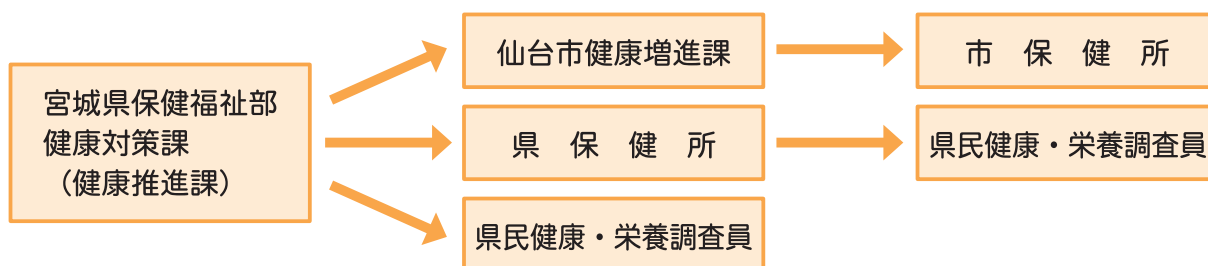
(3)栄養摂取状況調査及び歩数調査

生活習慣に関する項目（脂肪エネルギー比、野菜摂取量等、一日の歩行数等）を県民健康・栄養調査員が各世帯へ訪問し、記録方法の説明を行い、実施、回収した。

(4)その他

みやぎ21健康プラン関連項目（栄養・食生活，心の健康，歯の健康等）について各調査に付加して行った。

7 調査系統



8 集計分析

厚生労働省「都道府県健康・栄養調査マニュアル」に基づき，集計分析を行った。

なお，各調査において，各年齢階級の協力状況に差があることから，平成17年国勢調査人口を用いて年齢調整を行い，集計分析を行った。